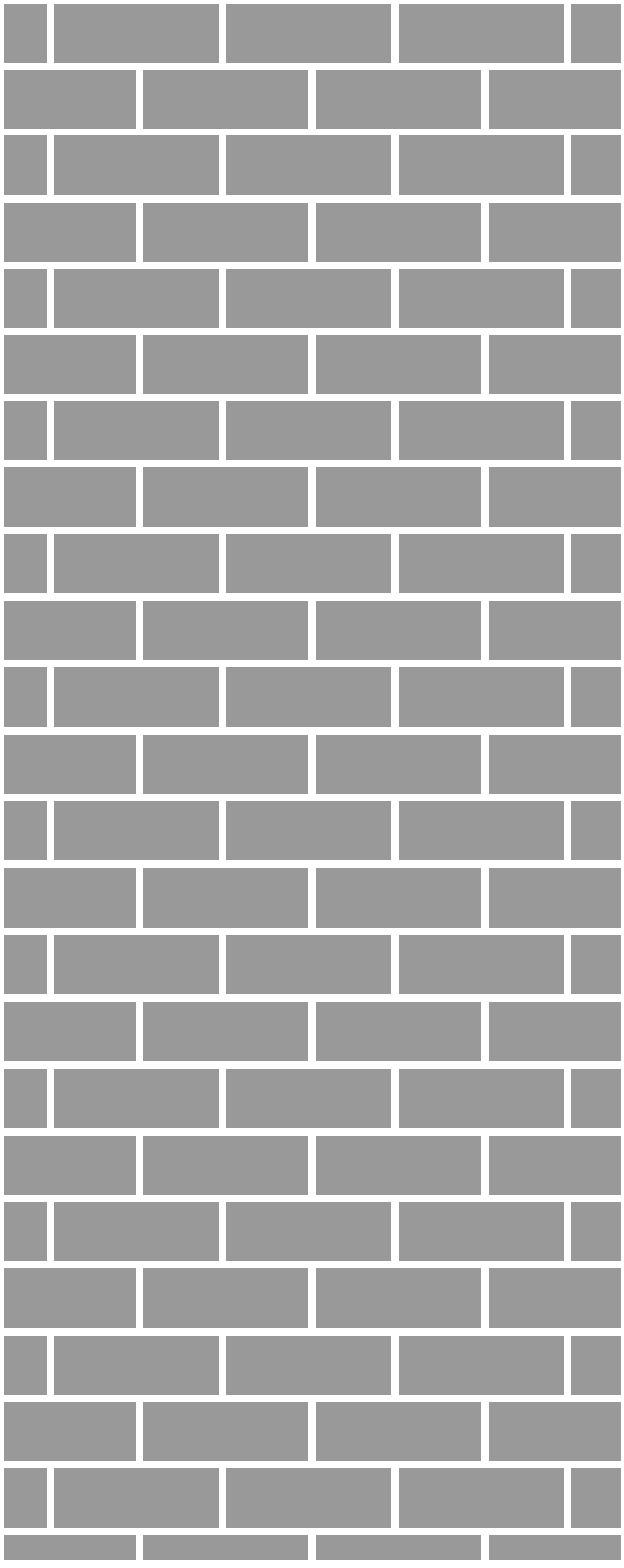
UD042

自然が未来

東洋エクステリア

取扱説明書

電動NH・NTH



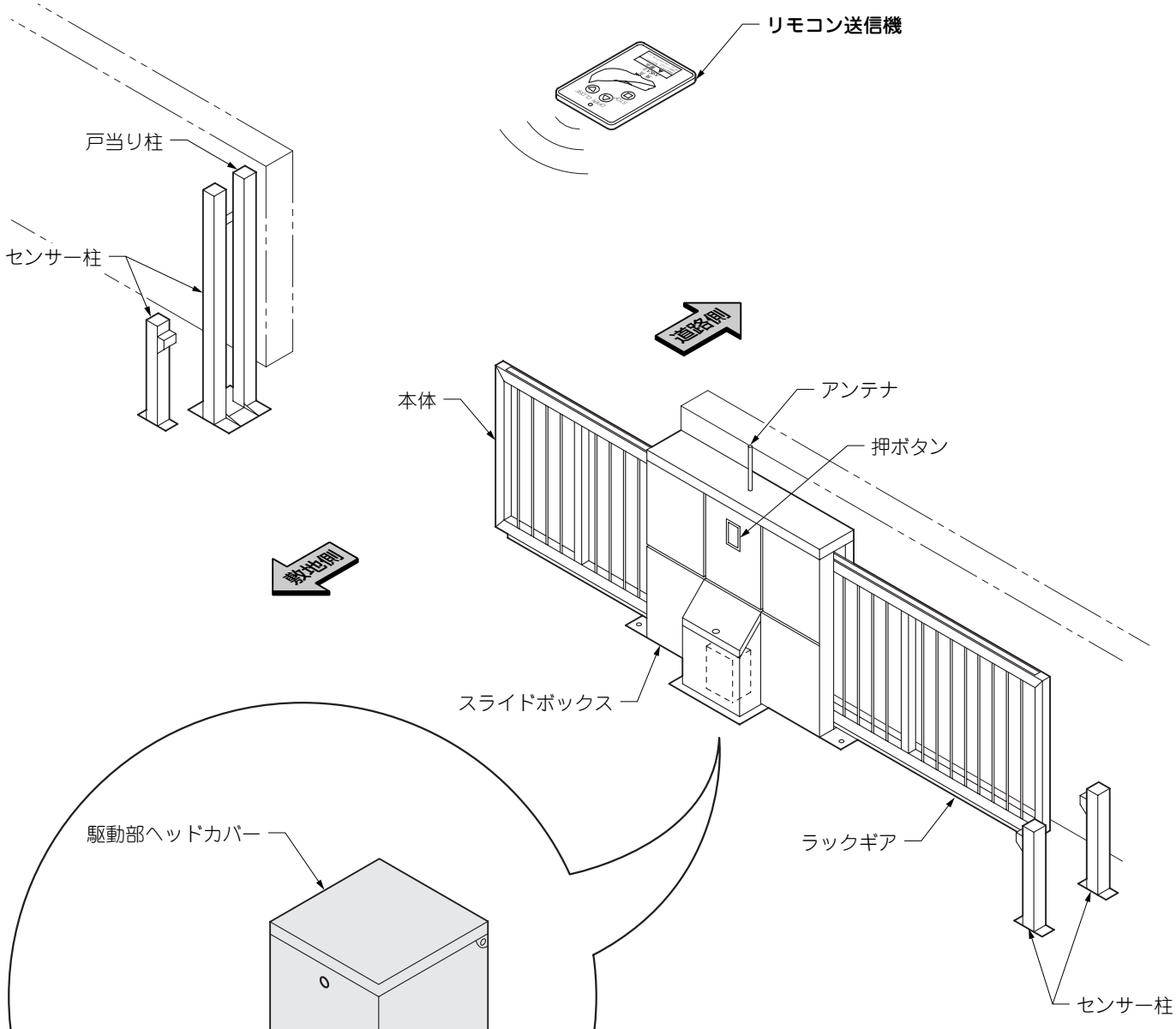
このたびは、東洋エクステリア製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

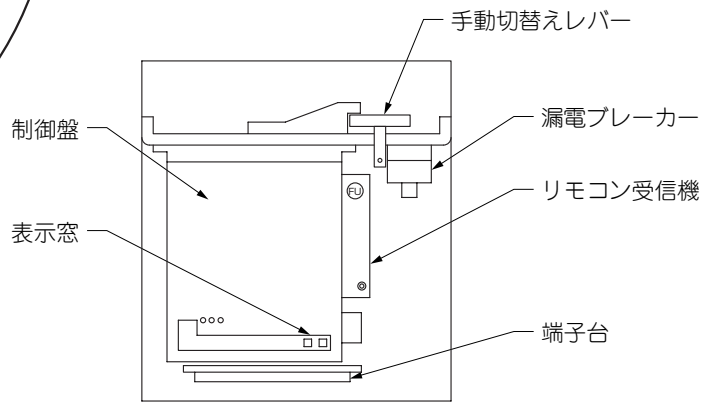
もくじ

1.各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2.安全のために必ず守ってください ・・・・・・・・・・ 2
3.電動ユニット機能の設定方法 ・・・・・・・・・・・・・ 4
3-1 リモコン送信機の追加登録 ・・・・・・・・・・・・・・・ 4
3-2 送信機カバーの使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3-3 光電センサーについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3-4 リミットの設定と操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・ 6
4.使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4-1 リモコン送信機での操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・ 8
4-2 スライドボックス押ボタンスイッチでの操作方法 ・・・ 9
4-3 電動で動かせないときの操作方法 ・・・・・・・・・・ 10
4-4 ご注意とお願い ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11
5.調整および交換方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
5-1 電池の交換方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
5-2 調整について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
6.お手入れについて ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12
7.修理を依頼する前に ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
8.修理 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
9.別売り品 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
10.仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

●製品を安全に正しくお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書を最後までお読みください。
お読みになったあとは、たいせつに保存してください。

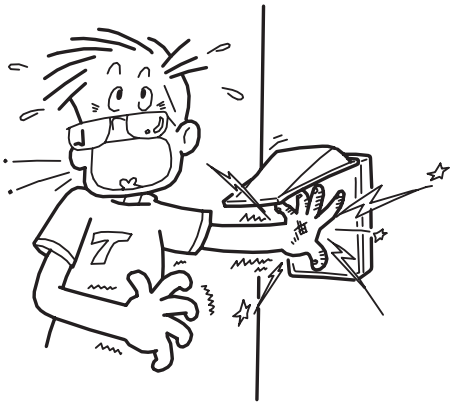
1　各部の名称



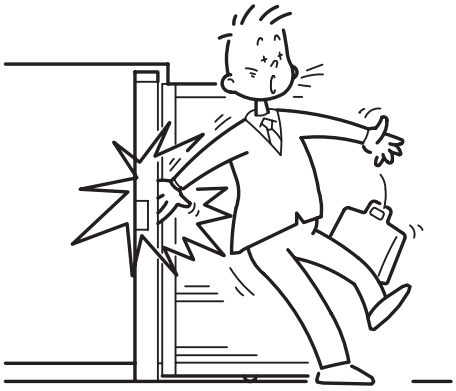


駆動部ヘッドカバーを開いた図

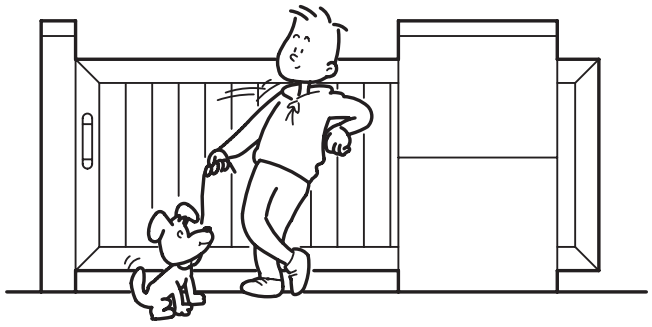
2　安全のために必ず守ってください



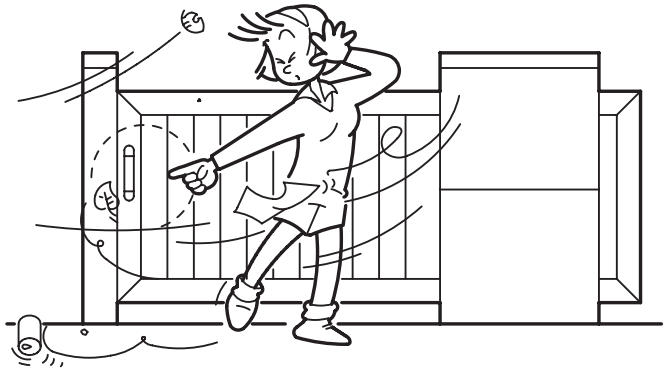
スライドボックス内の配線にはふれないでください。**感電するおそれがあります。**



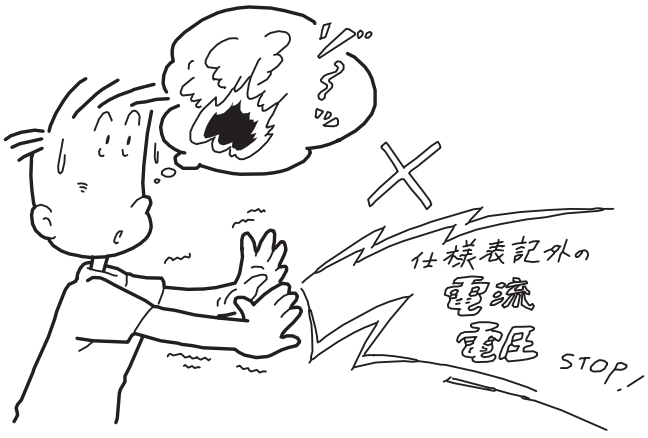
引戸が開閉しているとき、引戸と戸当り柱の間にはさまれないように注意してください。**ケガをするおそれがあります。**



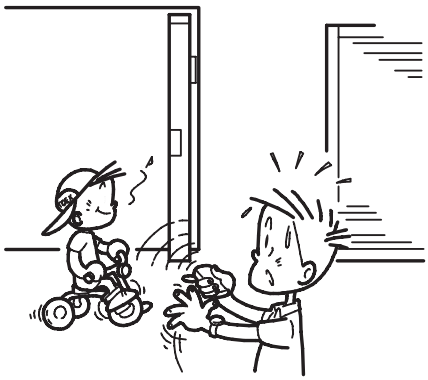
引戸に乗ったり、ぶらさがったり、寄りかかったりしないでください。引戸が破損したり、**けがをするおそれがあります。**



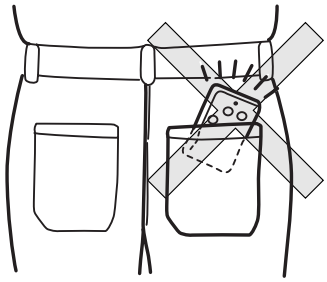
強風時には必ず引戸を閉めてください。



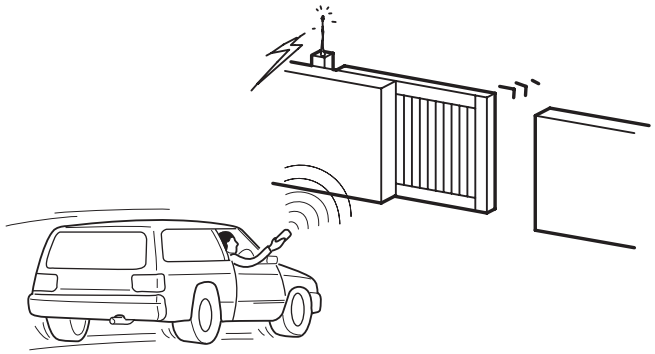
仕様に表記された電流・電圧以外の電源は使用しないでください。
火災、感電のおそれがあります。



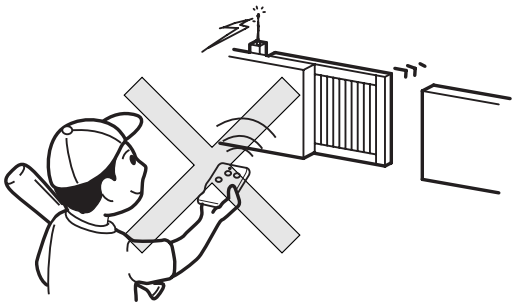
引戸の開閉時には、障害物がないことをご確認ください。特に小さいお子様には十分注意してください。
思わぬケガをする場合があります。



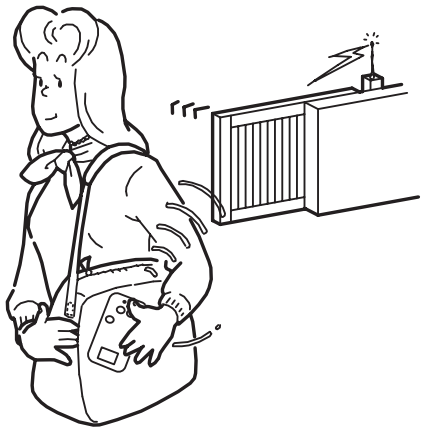
お尻のポケットには絶対に送信機を入れないでください。
送信機が破損するおそれがあります。



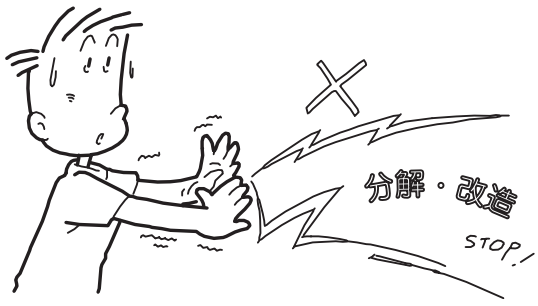
車を運転しながら操作しないでください。



お子様には操作させないでください。



リモコン送信器の押ボタンスイッチがバックやポケット内で、知らずに押されて**引戸が作動し思わぬ事故になる場合があります。**携帯しているときは注意してください。

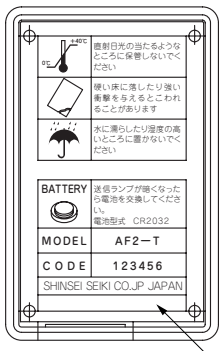


送信器を分解したり、改造したりしないでください。**異常な動作をしてケガをすることがあります。また、送信器出力を故意に増大させた場合は、法律上処罰の対象になります。**

3　電動ユニット機能の設定方法

3-1　リモコン送信機の追加登録

引戸本体側の受信機に登録作業をしませんとリモコン送信機は使用できません。
下記の手順に従って必ず登録をしてください。

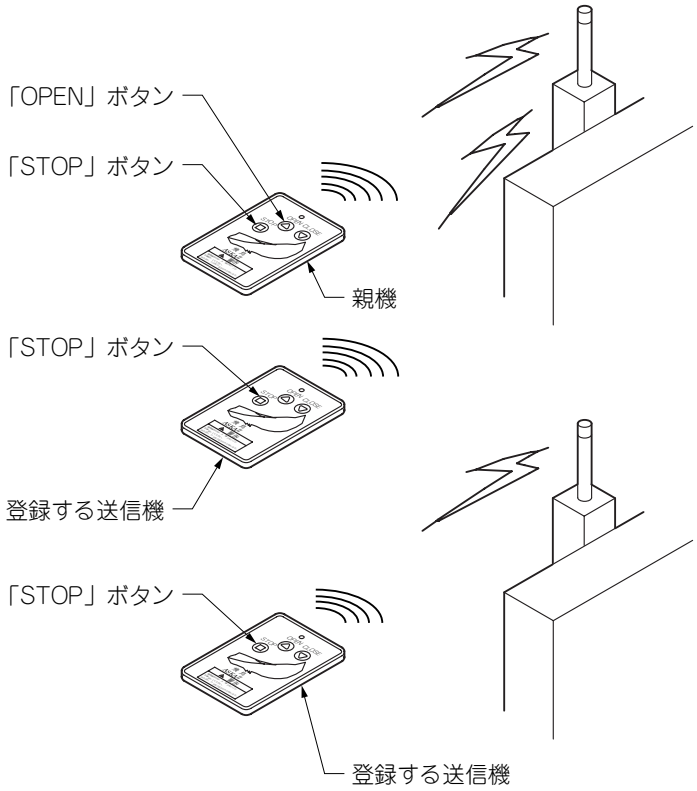


送信機裏側

親機の場合は
「MASTER」と表示してあります。

ご注意

- **引戸本体と同梱されているリモコンは親機または子機として登録済みです。**
- **親機は左図のようにリモコン送信機裏に「MASTER」と表示しています。**



①親機の「STOP」ボタンを押しながら1秒以内に「OPEN」ボタンを押します。

②続いて、3秒以内に新たに登録しようとする送信機の「STOP」ボタンを押します。

・受信機のブザーが連続音で鳴り、7秒間だけ登録モードに設定されます。

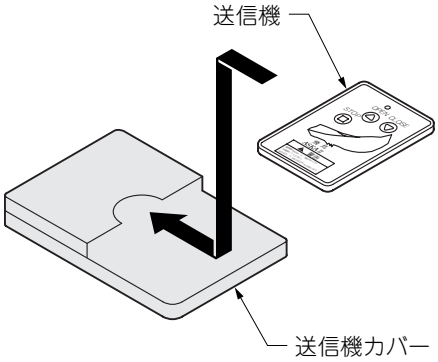
③7秒間の間に再び登録する送信機の「STOP」ボタンを1回押します。

・ブザーが1秒間鳴り、止まった後に再度1秒鳴って登録が完了します。

ご注意

- **登録モードのときは動作距離が減少しますので受信機の近く（5m以内）で登録してください。**
- **登録した送信機で引戸が確実に開放・停止・閉鎖することを確認してください。**
  （ 4-1 を参照してください。）

3-2　送信機カバーの使用方法



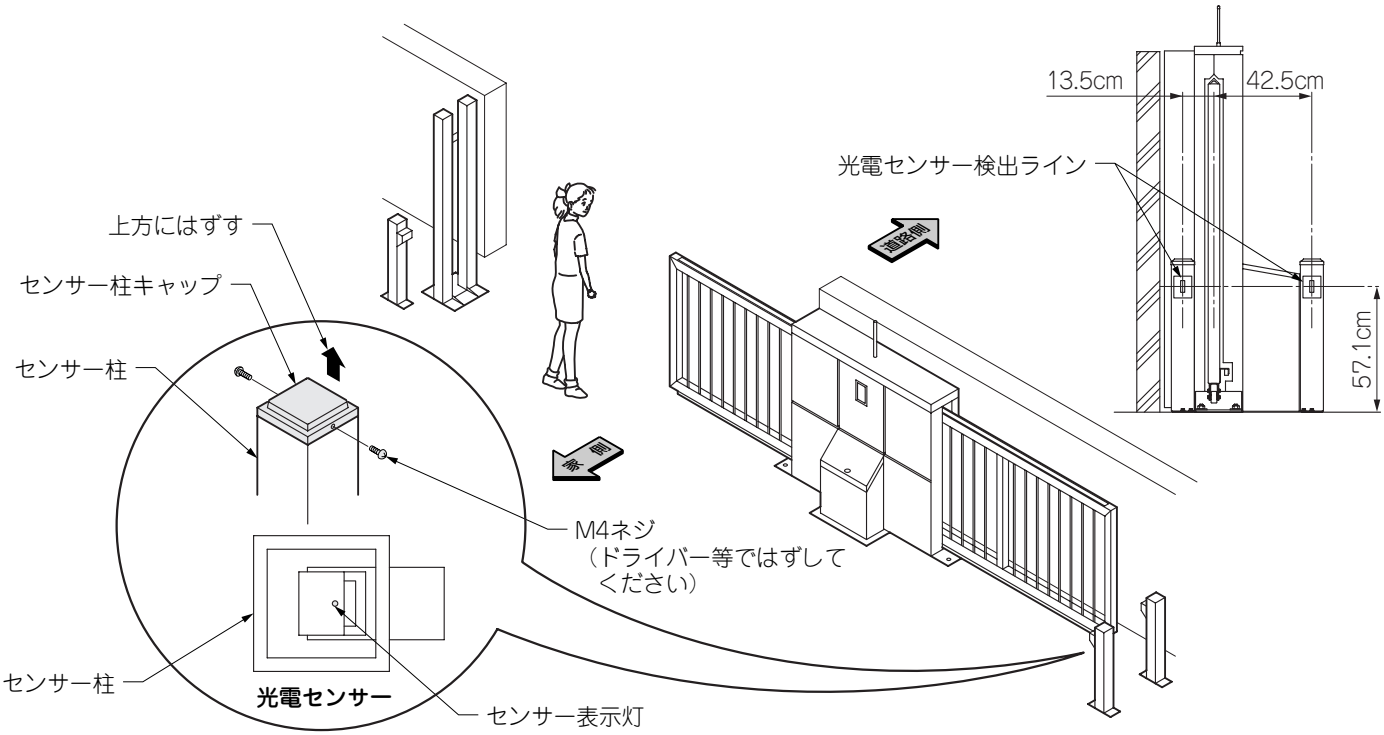
①送信機は付属の送信機ケースに入れて使用してください。

ご注意

- **送信機をケースに入れないと、落下時の衝撃により破損しやすくなります。**

3-3　光電センサーについて

この光電センサーは、安全のためのセンサーです。引戸動作中に人や車などがはさまれるのを未然に防ぎます。



（1）光電センサー検出範囲

- **光電センサーには検出エリアに制限があります。地面から57.1㎝の高さで、引戸中心から道路側に13.5cm、家側に42.5cmのラインが検出ラインとなります。**
- **検出可能な物体は、人や車など15cm以上の不透明体に限ります。**

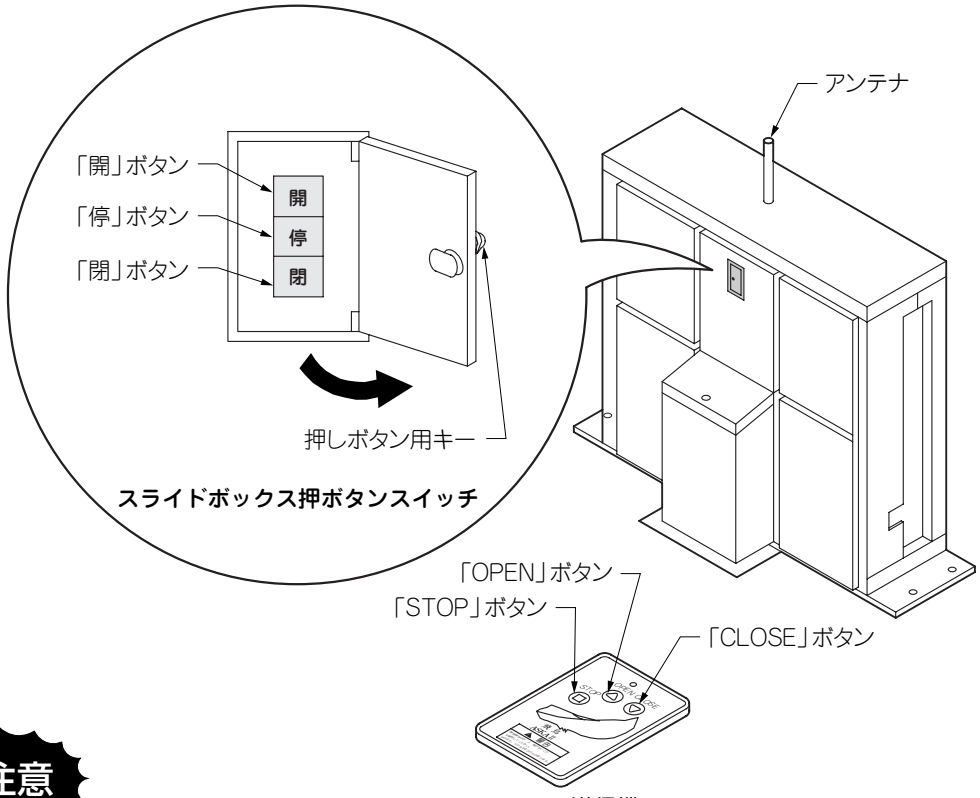
（2）センサー検出したとき

- **引戸動作中にセンサー検出ラインに、人や車など障害物が入ると光電センサー（受光側）の動作灯のみが消灯し、瞬時に引戸は停止します。（光電センサー（投光側）の動作灯は点灯したままです）**

ご注意

- 障害物がある間（受光側センサーの動作灯が消灯）は、リモコンおよび各押ボタンスイッチの操作ボタンを押しても引戸は動作しません。障害物を取り除いてから引戸を操作をしてください。
- 雨や雪または泥水などが、センサー本体に付着したとき、光電センサーが障害物と判断し（受光側センサーの動作灯が消灯）引戸を停止させる場合があります。柔らかい布で汚れを拭きとり、再度操作ボタンを押して引戸を操作をしてください。
- 降雪・降雨時に、まれに光電センサーが障害物と判断し（受光側センサーの動作灯が消灯）引戸を停止させる場合がありますが故障ではありません。再度、操作ボタンを押して引戸を操作をしてください。

3-4　リミットの設定と操作方法



ご注意

- 押しボタンはキーが付いているので、押しボタン操作をする際はキーを回し、フタをあけて行なってください。
- リモコン送信機の実用到達距離は約10mです。リモコン送信機は、その範囲内で操作してください。

（1）リミットの設定について

ご注意

- この引戸の駆動部のリミットスイッチは、モーターの回転数をカウントし駆動部のマイコンに記憶されることによって停止位置を決定します。駆動部のマイコンに停止位置を記憶させることをティーチングと呼びます。施工時や停電時など、電源が落ちますとカウント数の記憶が消え、リミットが設定されていない状態になります。リミットが設定されていない状態で「閉」の操作を行なうと、自動でティーチングを行ない、ティーチング後は通常操作ができるようになります。

（2）停電時後等のリミットが設定されていないときの動作について

a. リモコン「OPEN」または押しボタンスイッチの「開」を押した場合

・引戸はゆっくり低速で開き始め、前部ストッパーが当たり、停止します。（実際の開限位置はこの停止した位置約25mm手前となります。）

b. リモコン「STOP」または押しボタンスイッチの「停」を押した場合

・動いている引戸は停止します。

c. リモコン「CLOSE」または押しボタンスイッチの「閉」を押した場合

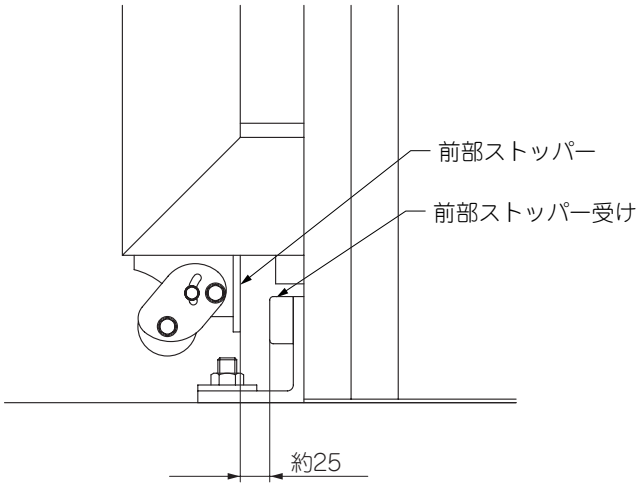
・引戸はゆっくり低速で閉まり始めティーチングを開始し、後部ストッパーが当たり、停止します。（閉限位置）

・一秒後、反転し低速で開き始め、前部ストッパーが当たり停止します。そして一秒後、反転し通常の速度で閉まり始め、閉限位置で停止し、リミットが設定されます。

ご注意

- このリミットの設定（ティーチング）は「CLOSE」または「閉」を一回押すだけで自動的に行ないます。途中で止める場合は「STOP」または「停」を押してください。リミットの設定は解除されます。
- リミット設定（ティーチング）終了後、閉限位置が正しいかどうかを確認してください。確認できましたら、「OPEN」または「開」を押して、開限位置が正しいか確認してください。
- 閉限位置、開限位置が間違っている場合は、電源をいったん落とすか駆動部のリセットボタンを押した後「CLOSE」または「閉」を押してリミット設定をやりなおしてください。
- リミット設定は開限だけまたは閉限だけの設定は出来ません。どちらか一方を変更する場合でも開限・閉限ともに再設定してください。

（3）操作方法および動作について



a. リモコン「OPEN」または押しボタンスイッチの「開」を押した場合

・引戸は低速で開き始め、数秒後速度が上がり、開限位置手前で速度を落として、前部ストッパーがあたる約25mm手前で停止します。

b. リモコン「STOP」または押しボタンスイッチの「停」を押した場合

・動いている引戸は停止します。

c. リモコン「CLOSE」または押しボタンスイッチの「閉」を押した場合

・引戸は低速で閉まり始め、数秒後速度が上がり、閉限位置手前で速度を落として後部ストッパーがあたり停止します。

ご注意

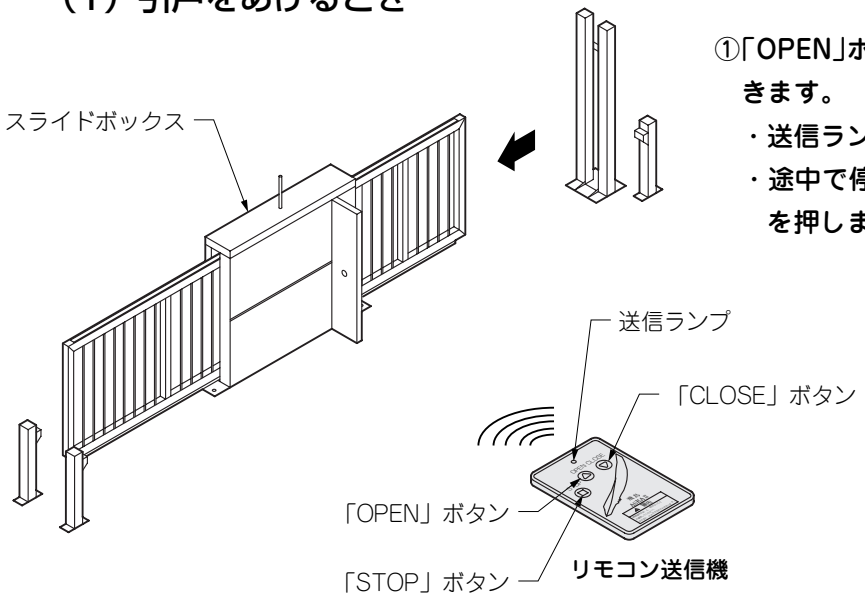
- 停電時など、電源が落ちますとカウント数の記憶が消え、リミットが設定されていない状態になります。
- リミットが設定されていない状態で「閉」の操作を行なうと、自動でティーチングを行ない、ティーチング後は通常操作ができるようになります。

4　使用方法

4-1　リモコン送信機での操作方法

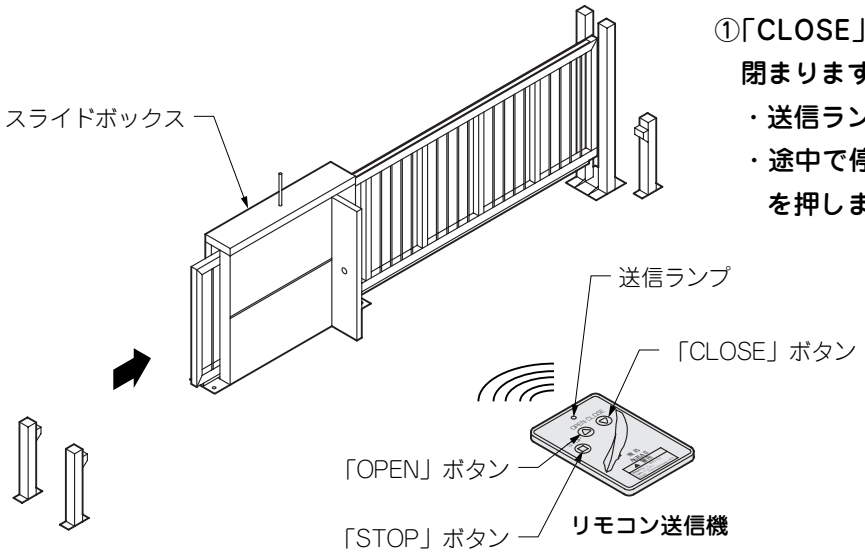
スライドボックスに向け、リモコン送信機の押ボタンスイッチを押して、引戸を操作してください。

（1）引戸をあけるとき



①「OPEN」ボタンスイッチを押すと、引戸は自動的に開きます。
- 送信ランプが1秒間点灯し、電波が送信されます。
- 途中で停止させるときは、「STOP」ボタンスイッチを押します。

（2）引戸を閉めるとき



①「CLOSE」ボタンスイッチを押すと、引戸は自動的に閉まります。
- 送信ランプが点灯し、電波が送信されます。
- 途中で停止させるときは、「STOP」ボタンスイッチを押します。

ご注意

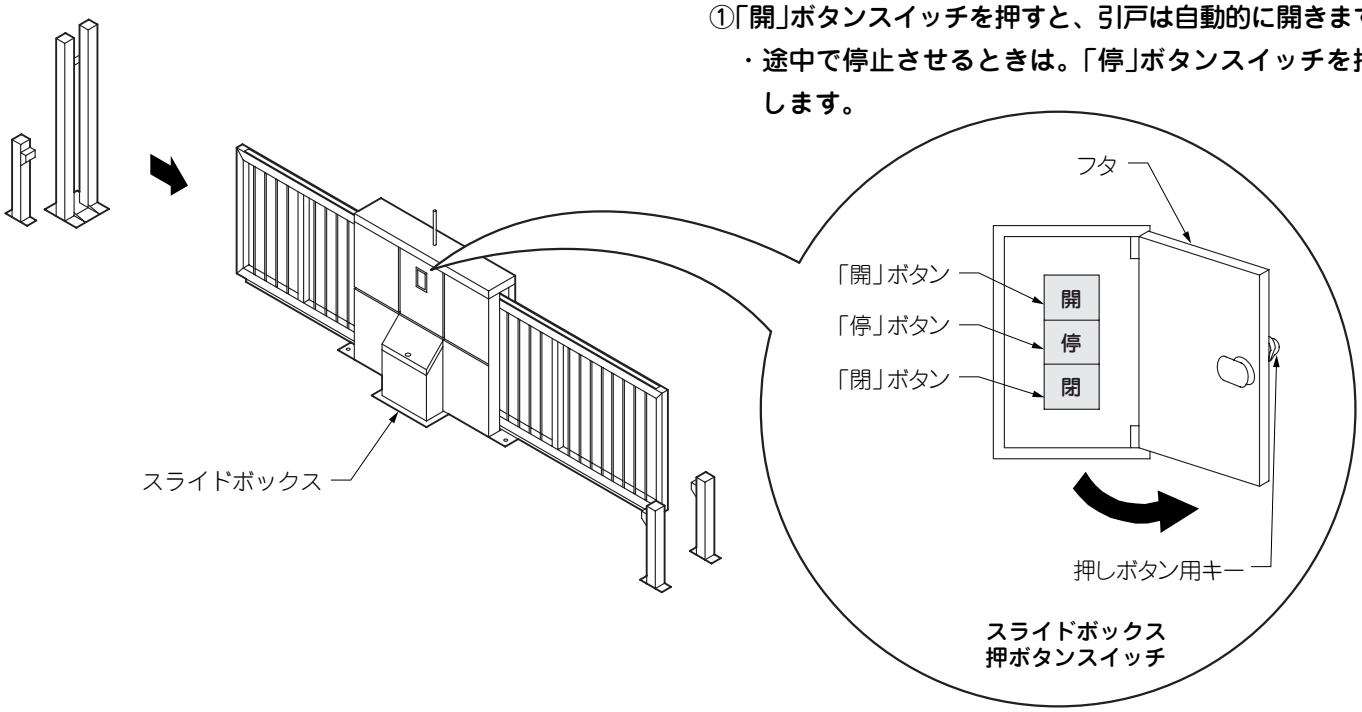
- 操作ボタンを1秒以上押し続けても電波の送信は1秒で終了しますので動作しないときはアンテナに近付いて再びボタンを押してください。
- 操作を間違ったときは直ちに「STOP」ボタンを押してください。
- リモコン送信機の実用到達距離約10m以内で操作してください。
- 開／閉動作中に、逆方向の「閉」または「開」の動作をさせるときは、必ず一度「STOP」ボタンスイッチを押してから、次の押ボタンスイッチを押してください。

4-2　スライドボックス押ボタンスイッチでの操作方法

スライドボックスに付いている押ボタンスイッチを押して引戸を操作してください。
押ボタンはキーが付いていますので、押ボタン操作をする際はキーを回し、フタをあけて行なってください。

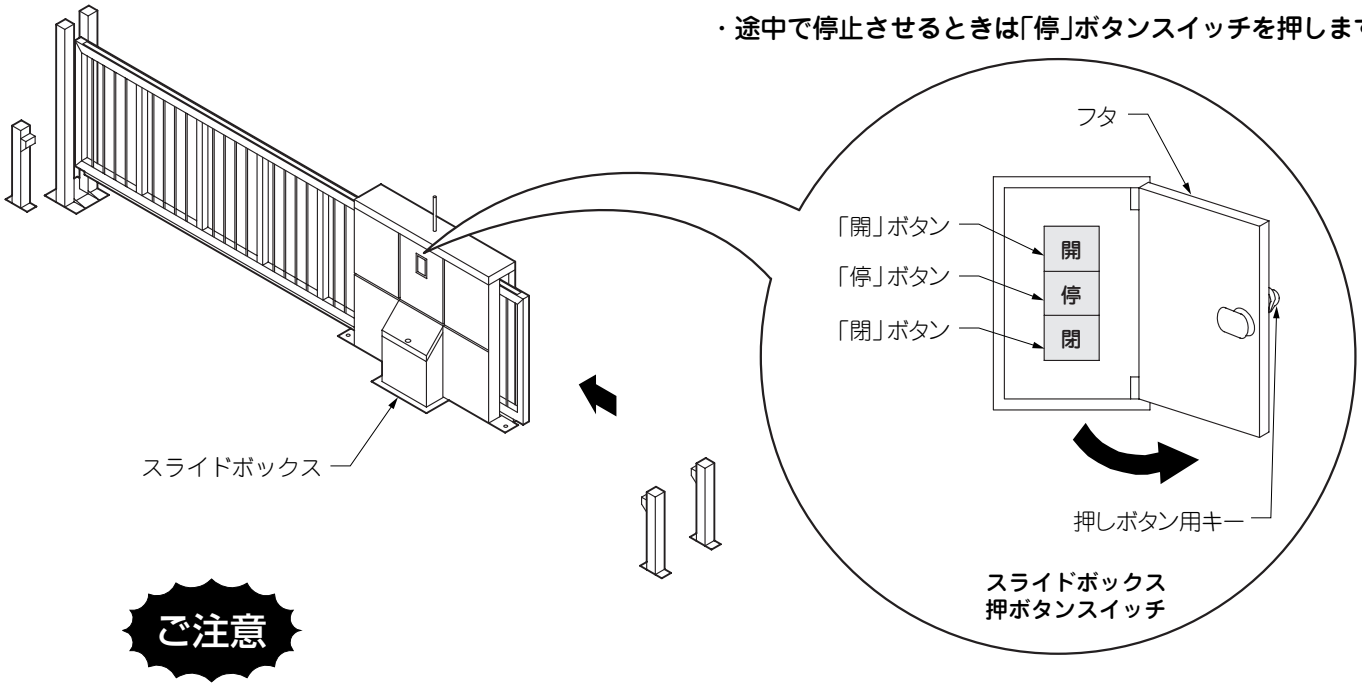
（1）引戸をあけるとき

①「開」ボタンスイッチを押すと、引戸は自動的に開きます。
・途中で停止させるときは。「停」ボタンスイッチを押します。



（2）引戸を閉めるとき

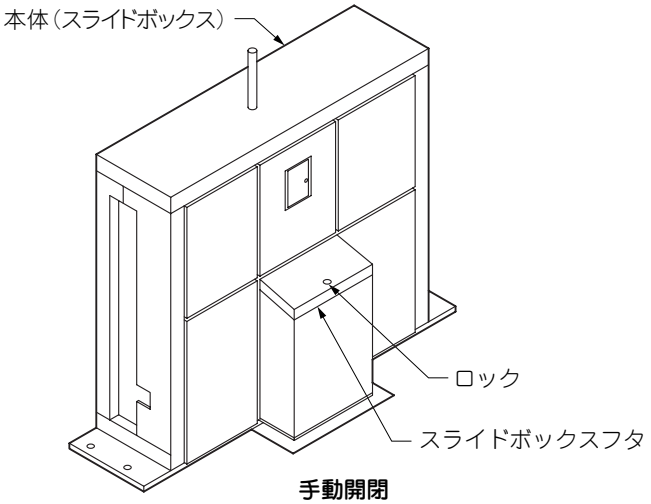
①「閉」ボタンスイッチを押すと、引戸は自動的に閉まります。
・途中で停止させるときは「停」ボタンスイッチを押します。



ご注意

- 開／閉動作中に、逆方向の「閉」または「開」の動作をさせるときは、必ず一度「停」ボタンスイッチを押してから、次の押ボタンスイッチを押してください。

4 - 3　電動で動かせないときの操作方法

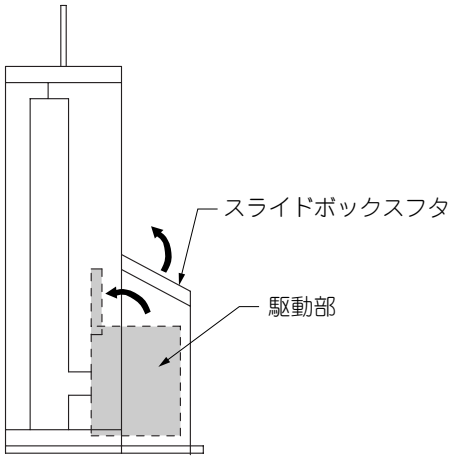


手動開閉

①本体（スライドボックス）、中央部のスライドボックスフタのロックをはずし、スライドボックスフタを上方にあけてください。

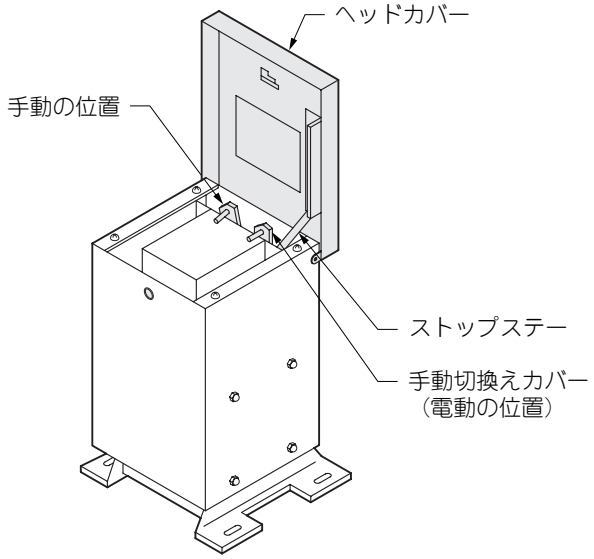
ご注意

- ロックはコインまたはマイナスドライバーで右にまわしてはずしてください。



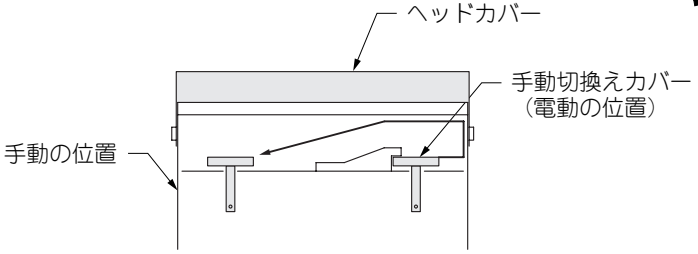
側面

②スライドボックスの中の駆動部ヘッドカバーを上方にあけ、手動に切替えてください。



③手動切替えレバーを右に引きながらヘッドカバー側へ押してから左へ動かしてください。（駆動ギヤーとラックギヤーの噛み合いがはずれ、引戸は直接手で開閉できます。）

④元に戻すときは、手動切替えレバーを右に動かし、手前に引き寄せてください。



ご注意

- 引戸を少しずらしながら行なってください。ラックギヤーと駆動ギヤーがスムーズに噛み合います。

⑤ヘッドカバーを閉めるときは、ストップステーを左に押しながらヘッドカバーを下げてください。

4-4　ご注意とお願い

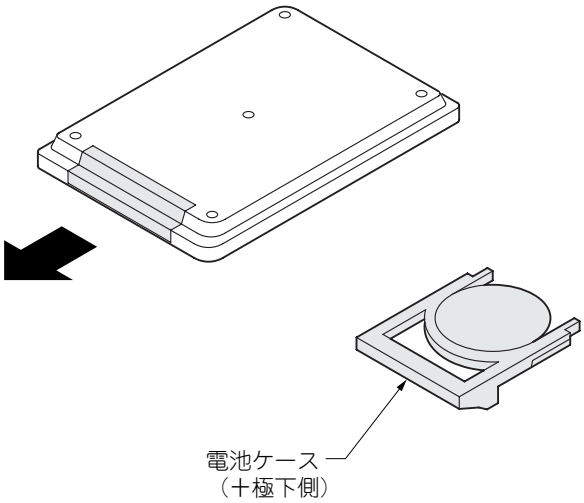
- リモコン送信機の実用到達距離は約10mですが、周囲の環境で短くなることがあります。
- リモコン送信機には強い衝撃を与えたり（固い床面への落下）、振動を与えないでください。また、リモコン送信機をぬれた手で操作したり、湿気の多いところや高温（60℃以上）になるところに保管しないでください。破損することがあります。
- リモコン送信機もは乱雑に保管しないでください。操作ボタンに物があたり、シャッターや門扉などが動作することがあります。
- リモコン送信機をイタズラに操作しないでください。動作範囲外（100m程度）でも動作することがあります。
- リモコン送信機操作部は強く押したり、爪を立てて押さないでください。リモコン送信機の表面シートが破れることがあります。
- 登録済みのリモコン送信機は盗難やイタズラ防止のため、確実に保管してください。
- リモコン送信機をバックの中やポケットに入れると、押ボタンスイッチが押され引戸が動いてしまうことがあります。携帯時の誤作動には十分ご注意ください。
- リモコン送信機の電池が消耗したとき、作動しないことがあります。
- リモコン送信機の押ボタンスイッチを1秒以上押していない（一瞬ふれた程度の）ときは、作動しないことがあります。
- 2台以上のリモコン送信機から同時に発信したとき、および各種無線機コードにて電話などの電波を受けたときは作動しないことがあります。
- 電動で使用しているときは、手動では開閉できませんので無理に力を加えないでください。駆動部などを破損するおそれがあります。
- 降雪時は引戸が積雪に干渉しない程度まで除雪してから使用してください。故障の原因になります。
- 引戸が障害物にあたったときには安全装置が働き、引戸が停止します。障害物を取除いてください。（安全装置が解除されます。）その後、「閉」（CLOSE）または「開」（OPEN）ボタンスイッチを押して引戸を動かしてください。
- 手動での開閉は非常時（停電・故障）のときに限り行なってください。通常は電動操作でご使用ください。
- スライドボックスの浸水時などは電源を切り、最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご連絡ください。
- 製品の分解や改造は絶対にしないでください。
- 製品に関する移設、増設などは、施工店・電気工事店（電気工事有資格者）または最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

5　調整および交換方法

5 - 1　電池の交換方法

送信ランプが暗くなったり、動作距離が短くなったら新しい電池と交換してください。

①電池ホルダーに入れるときは、電池の文字面（＋極）を下側にして組込みます。（左図参照）



ご注意

- 電池は、コイン型リチウム電池（CR2032）3V　1個です。電気店やスーパーマーケットでお買い求めください。
- 電池寿命は平均的な使用状況（10回操作/1日）で約2年ですが、保管環境や使用状態によって短くなることがあります。また、当初組込まれている電池は動作確認のため、2年以内に寿命となる場合があります。
- 電池交換後は、必ず動作確認をしてください。
- 保管状態では電池の消耗（放電）は極端に少なくなっていますが、長期間（1ヶ月以上）使用されないときは電池をはずして保管してください。

5 - 2　調整について

各部の調整を希望される場合には、施工店または最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。

6　お手入れについて

（1）年に2～3回水洗いをし、拭きとってください。

- 汚れがひどい場合には、中性洗剤をうすめた液で汚れを落したあとで、洗剤が残らぬようよく水洗いをし拭きとってください。
- スライドボックスには電装部品が内蔵されていますので、直接水道ホースなどで水洗いをしないでください。ぞうきんなどで汚れを軽く拭きとってください。

（2）キズは補修してください。

- あやまってキズをつけた場合は、補習してください。放置すると腐食の原因になります。

（3）定期的に再塗装してください。（スチールのみ）

- 引戸本体がスチール製の場合、定期的に再塗装してください。

7　修理を依頼する前に

故障かなと思われたとき、修理を依頼する前にお調べください。
直らなかったときには、修理をご依頼ください。

このようなとき	点　検	処　置
電動で作動しない	駆動部内の漏電ブレーカーが「OFF」になっていませんか。	ブレーカーを「ON」にしてください。
	光電センサーが障害物を検出していませんか。	障害物を取除いてください。 （5ページ参照）
	光電センサーの表面が汚れたり雪が付着していたりしませんか。	柔らかい布で汚れや雪をきれいに拭きとってください。 （6ページ参照）
	動作軌道上に障害物などがありませんか。	障害物を取除いてください。
	リモコン送信機の電池が消耗していませんか。 （送信表示灯が点灯していますか。）	新しい電池に交換してください。 （12ページ参照）
	リモコン送信機の押ボタンスイッチを1秒以上押していますか。	必ず1秒以上押してください。
リモコン送信機の押しボタンスイッチを押しても動かない	2台以上のリモコン送信機から同時に発信していませんか。	同時に発信はしないでください。
	各種無線機、コードレス電話などを同時使用していませんか。	同時使用は避けてください。
	操作位置がアンテナから遠すぎませんか。	10m以内で操作してください。
	リモコン送信機が受信機に登録されていますか。	リモコン送信機を登録してください。 （4ページ参照）
勝手に動くことがある	バックやポケットに入れたり、リモコン送信機の押ボタンスイッチが押されていませんか。	バックやポケットから取出してください。

8　修 理

製品に異常が生じたときは、施工店または、最寄りの東洋エクステリア各支店・営業所にご相談ください。
修理を依頼されるときは、下記のことをお知らせください。

故障の状況	できるだけ詳しく
製 品 名	
施 工 日	年　月　日
ご 氏 名	
ご 住 所	
電話番号	
道　　順	付近の目印などもお知らせください

9　別売り品

下記のような別売り品がありますので、目的に合わせてご利用ください。

- **リモコン送信機（KYY01）**
  送信機を増やしたいときや、あやまって破損・損失したときにお申込みください。

10　仕 様

電　　源	AC100V　50/60Hz
消 費 電 力	約180W
モーター定格出力	100W
周 囲 温 度	−10℃〜40℃
開 閉 速 度	15cm／秒〜28cm／秒
リモコン到達距離	見通し距離　10m（使用環境で短くなることがあります）
操 作 方 法	スライドボックス押ボタンスイッチ、リモコン送信機

リモコン送信機仕様

出　　力	500μV／m以下　※電波法適合
コード種類数	1／104万とおり
コード登録数	1（親機）＋199（子機）種類
使用温度範囲	0℃〜40℃
電　　池	コイン型リチウム電池（CR2032）3V×1個
電 池 寿 命	約2年（10回／1日動作）
送 信 時 間	1秒／1操作
送信機質量	28g
送・受信周波数	152.65MHz
動 作 距 離	約10m
使用周囲湿度	85%以下

電動NH・NTH　保証書

製造No.

	対象部品	期間(お引渡し日より)
保証期間	本体	2ケ年
	但し電装部品	1ケ年
お引渡し日	平成　年　月　日	
お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電話　(　)	

本書はお引渡し日から左記期間中故障が発生した場合には、本書記載内容で無償修理を行うことをお約束するものです。詳細は下記記載内容をご参照ください。

※お引渡し日、お客様名、施工店名が不明の場合は、保証し兼ねますので施工店に必要事項を記入していただいて下さい。又本書は再発行致しませんので大切に保管して下さい。

施工店	住所・店名　印 電話　(　)

東洋エクステリア株式会社
〒160-0022 東京都新宿区新宿1-4-12 TEL(03)3341-5051(代)

1. 保証者

東洋エクステリア株式会社(以下当社という)が当該商品の所有者に対して、以下に記載のとおり責任を負う。

2. 保証内容及び保証期間

1)保証の内容

保証期間内に通常の取扱いによって生じた品質不良、性能及び機能の低下について、当社が認定したものは、当社が無償で修理を行なう。

2)保証期間

当該商品の取付け完了後2年間。(電装部品については1年間)

3. 免責事項

保証期間内でも原因が次のような場合は、有償修理となります。

(イ) 環境が特に悪い地域の場所に取り付けられたもの。(例えば塩害や大気中の砂塵や煤煙、各種金属粉、亜硫酸ガス、アンモニア、車の排気ガス等の反応物質が付着して起こる腐食、高温、低温、多湿による損傷や故障)。

(ロ) 当社の表示した取り扱い方法(取扱説明書、本体添付ラベルの注意書)から逸脱したもの(例えば、中性洗剤以外のクリーニング剤を使用したアルミ部材等の汚れのお手入れ)。

(ハ) 使用者もしくは第三者の故意、過失、または不当な修理や改造によるもの。

(ニ) 施工完了後の移動、移設による損傷または故障。

(ホ) 不可抗力(天災、地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、落雷、異常電圧等)により発生したもの。

(ヘ) エクステリア構成材であっても当社供給範囲外のもの(波板等)。

(ト) 本来の使用目的以外の用途に使用されたもの。

(チ) 土間工事等の外構工事及び電気工事に起因するもの。

(リ) 施工完了後、引渡しまでの管理等の不備によるもの。

(ヌ) 保証書に取り付け年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。

(ル) 電池・電球等消耗品の損傷や故障。

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理につきましても、お買い上げの施工店又は当社各支店営業所にお問い合わせ下さい。

東洋エクステリア株式会社

札幌営業所 011-640-8000(代)
東北支店 022-246-7530(代)
関東支店 03-3290-8560(代)
千葉営業所 043-207-8261(代)
長野営業所 026-263-0861(代)
静岡営業所 054-238-3301(代)
中京支店 052-807-5520(代)
関西支店 06-6844-9233(代)
中国支店 082-849-5661(代)
九州支店 0943-32-1441(代)
南九州営業所 099-256-8955(代)

取説コード
UD042
200009A